

安全データシート (SDS)

改訂日：2020年4月1日

1. 化学品及び会社情報

製品名 : アルカスーパーロック
会社名 :  大興物産株式会社
住所 : 〒105-0001
東京都港区虎ノ門4-1-17 神谷町プライムプレイス
担当部門 : 営業本部 土木営業部 薬剤グループ
担当者 : 寺澤 信一
電話番号 : 03-6381-5208
FAX番号 : 03-6381-5238

2. 危険有害性の要約

【物理化学的危険性】

爆発物 : 区分外 (分類対象外)
可燃性又は引火性ガス : 区分外 (分類対象外)
可燃性又は引火性エアゾール : 区分外 (分類対象外)
支燃性又は酸化性ガス類 : 区分外 (分類対象外)
高压ガス : 区分外 (分類対象外)
引火性液体 : 区分外 (分類対象外)
可燃性固体 : 区分外 (分類対象外)
自己反応性化学品 : 区分外 (分類対象外)
自然発火性液体 : 区分外 (分類対象外)
自然発火性固体 : 区分外 (分類対象外)
自己発熱性化学品 : 区分外 (分類対象外)
水反応可燃性化学品 : 区分外 (分類対象外)
酸化性液体 : 区分外 (分類対象外)
酸化性固体 : 区分外 (分類対象外)
有機過酸化物 : 区分外 (分類対象外)
金属腐食性物質 : 区分外 (分類対象外)

【健康に対する有害性】

急性毒性 (経口) : 区分外 (分類対象外)
急性毒性 (皮膚・経皮) : 区分外 (分類対象外)
急性毒性 (気体・蒸気・粉塵・ミスト) : 区分外 (分類対象外)
皮膚腐食性又は刺激性 : 区分外 (分類対象外)
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 : 区分外 (分類対象外)
呼吸器感作性 : 区分外 (分類対象外)
皮膚感作性 : 区分外 (分類対象外)
生殖細胞変異原性 : 区分外 (分類対象外)
発がん性 : 区分外 (分類対象外)
生殖毒性 : 区分外 (分類対象外)
特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分外 (分類対象外)
特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 区分外 (分類対象外)
吸引性呼吸器有害性 : 区分外 (分類対象外)

【環境に対する有害性】

水生環境急性有害性 : 区分外 (分類対象外)
水生環境慢性有害性 : 区分外 (分類対象外)
オゾン層への有害性 : 区分外 (分類対象外)

【GHSラベル要素】

絵表示 : 記載項目なし
注意喚起語 : 記載項目なし
危険有害性情報 : 記載項目なし
注意書き : 記載項目なし

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分	: 混合物
化学名	: 逆相エマルジョン型アニオン性ポリアクリルアミド
化学式又は構造式	: $(\text{CH}_2\text{CHCONH}_2)_n(\text{CH}_2\text{CHCOONH}_4)_m$
成分 [CAS番号 / 化審法番号 / 安衛法番号] 及び含有量	
アクリルアミド・アクリル酸アンモニウム共重合体	[26100-47-0 / (6)-2212 / 既存] 30~40%
炭化水素系溶剤	[64771-72-8 / (2)-10 / 既存] 20~30%
乳化安定剤	[非公開] 非公開
水	[7732-18-5 / /] 25~35%
GHS分類に該当する添加物等	: 記載項目なし
その他の成分情報	: アクリルアミド Acrylamide [CAS no. 79-06-1] を不純物として 0.1%未満含有する。

4. 応急措置

吸入した場合	: 直ちに新鮮な空気のある場所へ移動し安静を保つ。呼吸しやすい姿勢で休息し、気分が悪い時は直ちに医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	: 直ちに水と石鹸で付着した製品を完全に洗い流す。気分が悪い時は、医師に連絡する。
目に入った場合	: 直ちに清浄な水で数分間洗浄した後、眼科医に化学名を伝えて手当を受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに医師に化学名を伝えて手当を受ける。水で口内だけをすすぎ、無理に水を飲ませて吐かせてはならない。
予想される急性症状及び遅発性症状	: 製品を長時間皮膚・目に付着した状態にさせると、場合により角膜の損傷や、カユミを感じたり赤斑を生じることがある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 大量の水、炭酸ガス、泡、粉末などが使用できる。
使ってはならない消火剤	: 知見なし
特有の危険有害性	: 火災によって炭化水素系溶剤に着火するおそれがある。加熱により容器が破裂するおそれがある。
消火を行う者の保護	: 適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	
	: 作業者は適切な保護具を着用し、眼・皮膚への接触を避ける。
	: 多量の場合は関係者以外の立入りを禁止して、盛土で囲って流出防止を図る。
環境に対する注意事項	
	: 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防いで、河川等に排出され、環境へ影響を及ぼさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材回収、中和などの浄化の方法及び機材等	
	: 少量の場合は、水を使わずに布・紙で直接拭き取るか、おがくず・砂等をまぶしてから空容器に回収する。
	: 多量の場合は、乾燥した土、砂や不活性な不燃材料に吸収させ、あるいは防水シートで覆った後、密閉可能な空容器に回収する。
	: 床面に残ると水に濡れて滑る危険性が高いため、確実に処理する。
	: 床のぬめりが取れない時には、おがくず・砂等をまぶして布・紙でよく拭き取り、多量の水でよく洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項

- : 保護眼鏡、ゴム手袋等の保護具を着用する。
- 取扱い後は手洗い、洗顔、うがい等を十分に行なう。
- 可燃性オイルを含む為、火気に近づけない。
- 強酸化剤との接触を避ける。

保管上の注意事項

- : 保管容器はステンレス、F R P、P V Cが好ましい。
- 火気厳禁、保管温度は 5～35℃が望ましい。
- 使用後は容器の口を開放したままにせず、通気の良い屋内で密封保管する。
- 長時間放置しておく、液が分離することがあるので、十分に攪拌してから使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

- | | |
|------|---------------------------------|
| 管理濃度 | : 設定なし |
| 許容濃度 | : 日本産業衛生学会勧告値 : 設定なし |
| | A C G I H : 設定なし |
| 設備対策 | : 通気が良くない屋内作業場所の場合は、全体換気装置を設ける。 |
| 保護措置 | : 適切な保護具を着用すること。取扱い後はよく手を洗うこと。 |
| | 呼吸用保護具 : マスクを着用すること。 |
| | 手の保護具 : ゴム手袋を着用すること。 |
| | 眼の保護具 : ゴーグル型安全眼鏡を着用すること。 |
| | 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用すること。 |

9. 物理的及び化学的性質

- | | |
|--------------|-------------------------------------|
| 外観 | : 乳白色～淡黄色液体 |
| 臭気 | : わずかなオイル臭あり |
| p H | : 6.0～8.0程度 |
| 密度（比重） | : 1.00～1.10 |
| 粘度 | : 300～2,000mPa・s |
| 融点・凝固点 | : データなし |
| 沸点 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 引火点 | : 102℃以上（クリーブランド式）
105℃以上（セタ密閉式） |
| 発火点 | : データなし |
| 爆発限界 | : データなし |
| 溶解度 | : 水に可溶 |
| オクタノール・水分配係数 | : データなし |
| 自然発火温度 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |

10. 安定性及び反応性

- | | |
|---------|---------------|
| 安定性 | : 通常の実験条件では安定 |
| 危険有害反応性 | : 通常の実験条件では安定 |
| 避けるべき条件 | : 高温・多湿 |
| 混触危険物質 | : データなし |

1 1. 有害性情報

急性毒性	: L D ₅₀ > 2,000mg/kg/経口雌ラット
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 経験的に長時間、微粉を皮膚に付着させるとカユミを感じたり、赤斑を生じる場合があるが、判定できるデータなし。
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	: 目に付着した状態にさせると角膜の損傷や刺激を生じる場合があるが、判定できるデータなし。
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: ヒト生殖細胞変異原性を判定できるデータなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性	: 急性有害性（区分外） : 長期間有害性（区分外）
	急性有害性	: 1,100mg/L/96hr/♂メダカ[3] 148mg/L/96hr/♂メダカ[4]
	長期間有害性	: データなし
残留性・分解性		: 分解度：27～31%/28 日間（BOD 法）[2]
生体蓄積性		: データなし
土壤中の移動性		: データなし
オゾン層への有害性		: データなし

1 3. 廃棄上の注意

安全で環境上望ましい廃棄の方法	: 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に水溶性樹脂として処分を委託する。ドラム等容器は内容物を除去した後、廃棄物・清掃法に基づき処理・処分業者に依頼する。
容器・包装の適正な処理方法	: 内容物を完全に除去すること。容器は清浄にして、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 1 m ³ コンテナ容器は弊社へ返却する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	国連番号	: 非危険物
	国連分類	: 非危険物
海洋汚染物質		: 該当なし
MARPOL		: 該当なし
緊急時応急措置指針番号		: 該当なし
特別安全対策		: 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積込み、漏洩及び荷崩れ防止を確実にを行う。 輸送時には雨に濡れないようにする。
国内規制		: 該当なし

15. 適用法令

化審法（特定化学物質等）	： 該当なし
消防法（危険物）	： 該当なし
労働安全衛生法（表示・通知対象物）	： 該当なし
労働安全衛生法（特化則・有機則）	： 該当なし
化学物質排出把握管理促進法（PRTR）	： 該当なし
毒物及び劇物取締法	： 該当なし
危険物船舶運送及び貯蔵規則（危規則）	： 該当なし
海洋汚染防止法	： 該当なし
航空法	： 該当なし
大気汚染防止法	： 該当なし
水質汚濁防止法	： 該当なし
オゾン層保護法	： 該当なし
化学兵器禁止法	： 該当なし

16. その他の情報

引用文献

日本食品分析センター 試験報告書 ヒメダカによる魚類急性毒性試験
製品評価技術基盤機構（NITE）の公開情報及び原材料メーカーからの情報

分類方法

JIS Z 7253-2012「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、
作業場内の表示及び安全データシート（SDS）」を参照

作成日 2015年 4月 1日	作成者 村上 悦之
改訂日 2016年 4月 1日	改訂者 村上 悦之
改訂日 2016年 9月16日	改訂者 村上 悦之
改訂日 2017年10月 1日	改訂者 村上 悦之

- ◆ 記載内容は現時点での入手した資料に基づき作成しておりますが、記載のデータおよび評価は、必ずしも十分ではありませんので、取り扱いにはご注意ください。
なお、注意事項等は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合は、さらに用途・用法に適した安全対策を実施のうえ取り扱い下さい。